臨床研究に関するお知らせ

この文章は**限局期びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の R-CHOP 療法後の長期予後の検討 YACHT ML1601-01** に関するお知らせです

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	限局期びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の R-CHOP 療法後の長期予後の検討　YACHT ML1601-01
	研究目的	この研究は，2003 年～2009 年に当院を含む国内の参加施設で限局期（臨床病期 I および II 期）のびまん性大細胞型細胞性リンパ腫と診断され，リツキシマブ併用-CHOP 療法を 6－8 サイクルの治療を受けた患者さんを対象としています。調査内容はリンパ腫に関する症状，検査結果，治療の内容，治療の効果です。検査はいずれも日常診療で行われている項目であり，この調査のための新たな検査項目はありません。 各病院から集められたデータは患者さんの氏名はなく，プライバシーの保護について細心の注意が払われます。ご自分のデータをこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんもしくは代理人の方（患者さんご本人が連絡できない場合）は，担当医を通じてご連絡いただければ、本研究へのデータ利用を停止いたします。
	研究期間	西暦 2017 年 2 月 21 日　～
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）		[_] 血液　[_] だ液　[×] 臨床検査データ [] 病理組織　[_] 排泄物（尿・便）[_] その他（*記載して下さい*） [_] 毛髪　[×] 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター腫瘍内科　医長　沼田歩 部長　酒井リカ
試料・情報を利用する者の範囲	当院での実施診療科/部局等	藤沢市民病院　血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者 海外へ試料・情報を提供する場合、国名も記載して下さい。	神奈川県立がんセンター　腫瘍内科　酒井リカ 静岡赤十字病院　血液内科　田口淳 横須賀市民病院　血液科　原野浩 横浜市大市民総合医療センター病院　血液内科　藤澤信 藤沢市民病院　血液内科　藤巻克通 横浜市立大学医学部　血液・免疫・感染症内科学　松本憲二 大和市立病院血液・腫瘍内科　橋本千寿子

連絡先

この研究に関するお問い合わせは，藤沢市民病院　血液内科　藤巻克通までお願いします。